

第8回レジ袋削減推進協議会 議事録要旨（HP 公開用）

長野県環境部資源循環推進課

【開催日時】

平成30年7月19日（木） 14:00～15:00

【開催場所】

長野県庁西庁舎111号会議室

【参加者】

事業者（9社）、消費者（2団体）、関係団体（2団体）、行政（市長会、長野県環境部）、計20名

【協議事項】

（1）第7回協議会後の検討経過について

（2）今後の方向性等について

発 言 者	内 容
事務局説明	資料1～資料3により、（1）（2）を説明
会長から （補足）	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋削減のこれまでの取組について この運動は、レジ袋の有料化に焦点が当たり過ぎた取組になってしまったことが問題であった。もっと事業者さんに様々な方法で自主的に進めていただく運動にしていきたいと思っている。 ・観光事業者への参加呼び掛けについて 長野県はごみの排出量が全国で一番少ないということだが、それは観光客が出すごみも含まれている。自然の豊かさを享受するために本県に来られた観光客へも、県のこういった努力があり日本一を維持しているのだということを理解してもらい協力いただくよう、県としてもう一歩進んだ姿勢を示すということで、観光という視点を加えたところ。 ・消費者団体との連携について レジ袋削減は環境問題の取組の一環ということに立ち返ると、今後は消費者団体だけでなく、各地の環境団体などと連携して取組を進めていくべき。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらに記載の内容については、このとおり進めていきたい。 <p>私共としては、あくまでCO₂低減のための手法がレジ袋の削減と考えている。レジ袋の辞退率はなかなか100%にはならないが、レジ袋自体をバイオマス化するか、マイバッグ持参率を上げていく取組を行っていく。本取組案に協力していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（本社のある）近隣県で取組に協力しているが、レジ袋の辞退率は80%以上に達している。取組として、空き箱を使用して、お客様に商品を入れてお持ち帰りいただくといったことをしている。レジ袋削減により、H20.7～30.3で17,225kℓの原油削減、200ℓタンクにすると86,123本分の削減になったというデータもある。 <p>お店で力を入れなければお客様には伝わらないということで、是非消費者に削減をアピールしていただきたい。</p>

	<p>・当社は店舗数は少ないが、マイバック持参率は約 80%となっている。取組にはさまざまあるとはいえ、やはり「有料化」の効果は大きいと感じている。今後、コンビニ・ドラッグストアにも運動を広げていくというのは、大きなポイントと思われる。</p> <p>・いただいた取組み例については、持ち帰ってできることをしっかりやらせていただく。各店舗のレジでの声掛けや店内放送、ポスター等をしっかりやっていく。社内会議でも周知させていただく。</p> <p>・マイバッグ持参率はデータ化しているが、昨年度比 0.3%アップで現在 84%。市町村で取組んでいる飯田地区では 90%以上ある。レジ袋削減については、今後とも行政と連携して、県全体で一緒になって取り組んでいくとよい。</p> <p>・取組、スケジュールを含め、方向性はよい。</p> <p>レジ袋を辞退した際にポイント付与を行っているが、昨年のスタンプカードの回収数は 1,182 枚であった。お客様の関心も高まっている。こういった取組みで協力していきたい。</p> <p>・当社は ISO14001 を取得しているが、その環境目標の中でレジ袋の辞退率増加を掲げている。単にマイバックだけではなく、独自の袋詰めサービスを行っている。レジ袋の回収をしてリサイクルを行っており、昨年度は 230 万枚を回収し、レジ袋へのリサイクルはコストの関係でできないが、すべて市町村のごみ袋となっている。</p> <p>・当社では、レジ袋有料化を行っている。また全店で、段ボールの利用をさせていただいており、有効な手段と考えている。また、資源ごみの回収も行っている。</p> <p>・3年前からレジ袋有料化を行っている。全店で辞退率は 70%前半、80%を超えている地区もあるが、深夜営業の店舗では 60%程度。最近では地元サッカーチームのマイバッグを作成して呼び掛けをしているが、特定の方が買われており全体の運動にならないと感じる。その点、もっと身近なコンビニ・ドラッグストア、道の駅などにもやってもらうとよい。</p> <p>昨年度県が行った「もったいないキャンペーン」もそうだが、お店とお客様との間で何か義務感といった感じに映るものでなく、明るく、楽しい取組として欲しい。</p>
消費者団体	<p>・事業者の皆様と一緒にやる運動は大事と考える。</p> <p>先日の「消費者被害」を防止する会議にも、コンビニ事業者が加入している日本フランチャイズチェーン協会の方が参加していた。レジ袋も協会に関わってもらうとよいのでは。</p> <p>団体としてはエシカル消費も含め、地域のことなどを一緒に考えていくような取組を今後も進めていきたい。</p> <p>・地域の小売店の店頭でマイバッグの調査を行った。男性がなかなかマイバッグを持ってこないということで、傘やいらぬ布などで小さなバッグを作り、2年くらい提供を行った。その結果、持参率が 80%以上となった。何事も地道な活動が大事。</p>

関係団体	<p>・ 中信から南信地域の会員の声を聞くと、マイバッグ持参率が90%を超えている地域なので、北信の会員とは考え方が違うと感じる。レジでの声掛けについては、いまさらマイバッグは当たり前なのにまだやったださっているのかと感心している。レジの方にお聞きすると、有料になる前と後では、以前のように店の外にレジ袋が風に舞ったり、ごみになったりといったことは見られないようになったという。コンビニ・ドラッグストアへも一律に呼び掛けてもらおうと、いっそう率も上がると思われる。</p> <p>・ 今後の具体的な取組については積極的に御協力させていただくとともに、啓発活動についても関係事業者様に周知させていただく。</p> <p>個人的な感想だが、コンビニ・ドラッグストアの参加は大変大きいと思われる。</p>
会長 (まとめ)	<p>県の方針について、皆様に御承諾いただいた。</p> <p>いただいたご意見については、県の方で今後の活動に活かしていただきたい。レジ袋削減と同等の活動として、環境という視点から、スーパーなどでのトレイの回収についても今後の取組に取り込むなり連携していくとよいと思われる。</p>
資源循環推進課長	<p>本日は貴重な御意見をいただき、感謝する。</p> <p>レジ袋削減の取組について、コンビニについては包括連携協定に基づいて具体的な協議を行っているところ。また、ドラッグストアについてはドラッグストア協会を通じて今後お願いをしていく予定。</p> <p>また県では、「信州ごみげんねっと」というサイトを昨年度新設したところ。そうしたところで、事業者様の特徴的な取組についても発信をしたいと思っている。</p>

(3) その他

消費者団体	<p>NPO 法人フードバンク信州の活動に協力しており、貧困の方や困っている方などに余っている食料を回している。必要な食品は不足している状況。</p> <p>消費期限間近な食品の提供について、事業者の皆様にも御協力をいただけるとありがたい。</p>
県	<p>昨年度から行っている「信州発もったいないキャンペーン」を今年も10月に行う予定。昨年度は15事業者117店舗に御協力いただいた。</p> <p>御協力いただける事業者様の募集を今後させていただくので、多くの皆様に御参加いただけるよう、よろしく願いしたい。</p>